

慶良間諸島国立公園 ステップアップ プログラム2025

取組推進のための
ワークショップ

ニュースレター
Vol.8

国立公園満喫プロジェクトの取組の一つである「ステップアッププログラム2025（以下、SUP2025）」で挙げられた地域の取組を具体的に進めることを目的に、令和4年度から地域関係団体の実務担当者が参加するワークショップを開催しています。
令和6年度第3回ワークショップでは、今後の取組を進める上での課題について、参加者全員で解決方法や連携・協働の可能性等について意見交換の他、取組に関連した先進地域の事例紹介を行いました。

第3回ワークショップ

第2回ワークショップからの進捗を確認し、
次年度に向けて取組を進める方法を
みんなで考えよう！



開催概要

【渡嘉敷村】

日 時：2025年2月4日(火) 17:30～19:30

場 所：渡嘉敷村中央公民館1階研修室

参加者：地域関係者 4名

【座間味村】

日 時：2025年2月18日(火) 15:00～17:00

場 所：座間味村歴史文化・健康づくりセンター

参加者：地域関係者 11名

当日のプログラム（両村共通）

- ① 開会
- ② 各参加者の状況報告
- ③ 意見交換テーマ紹介・事例紹介
- ④ 意見交換・事例紹介の感想共有
- ⑤ 閉会



今回のワークショップでは、各参加者から取組の進捗状況・課題が共有され、事務局より先進地域の事例紹介を行い、挙げられたテーマや取り組む課題の見直しについて意見交換を行いました。

先進事例の紹介



各村の取組に関連したものを中心にトピックを設定し以下の先進地域の事例紹介を行いました。

水面利用のルールづくり

神奈川県逗子市/海岸利用の条例・ルールの周知
東京都小笠原村/国立公園の自主ルール周知

環境保全と人材育成

北海道弟子屈町/特定自然観光資源のエコツアー

環境整備

沖縄県大宜味村/ター滝駐車場の整備と管理

意見交換の概要@渡嘉敷村



渡嘉敷村では取り組む課題の見直しを行いました。
また事務局より先進地域の事例紹介と感想共有をしました。

テーマ	現状・課題	挙げられた主なアイデア
村内事業者との協同による新たなプログラムの開発	● 3月に向けて地域探求プログラムの中身を考えながら、昨年度お世話になった方を中心に人材を探している。	◇ WS参加者に協力してもらうのはどうか。 ◇ 地域探求プログラムの内容で必要な人材のイメージを共有し、人の紹介ができるとよい。
部落内・道路の景観整備	● 防犯等のために街灯を覆うような枝を払いたいが、人材や資金が不足し、取り組むのが難しい。	◇ 枝払いは個人での対応や業者への委託が基本となる。 ◇ 他地域のボランティアによる環境整備の事例を知れるとよい。
海のルールづくり支援	● 利用のルールを周知するため看板の設置をした。ルールを説明しても守ってもらえないケースがあり、修正に向けた検討をしたい。	◇ 県外の観光客や事業者にもルールを守ってもらえるように検討ができるとよい。
ホエールウォッチング自主ルールの周知	● ポスターは観光協会や宿泊施設で掲示してもらうことができた。 ● 他の場所でもポスターを掲載できるようにしたい。	◇ 他の媒体や広報事例を参考にしながらポスター掲載を検討するのはどうか。

意見交換の概要@座間味村



座間味村では課題解決に向けた意見交換を行いました。
また事務局より先進事例の紹介も行いました。

テーマ	現状・課題	挙げられた主なアイデア
冬場の欠航時のアクティビティ紹介と情報共有	● 夏も冬も共通した観光の目的として、晴れていれば海で泳ぎたいという希望は多い。 ● 船が全便欠航した際に、夏場は「どうにかして帰りたい」というニーズから、観光客向けにチャーター船の手配を行っている。 ● 一方、冬場は夏場よりチャーター船の単価が高いことから、観光客にフェリーの運航再開を待つことを案内する。 ● その際に、島で待つ間に出来るアクティビティ紹介をしたい。しかし、その時に紹介できるものはSNSを駆使しても調べきれず課題だと感じる。 ● どんなアクティビティが紹介できるのか今一度確認したい。	<観光客のニーズとアクティビティ案> ◇ 観光客のニーズとして島の地物を使った料理やクルーズによる周遊といったものがある。 ◇ 野菜の収穫体験や漁でとれた魚の見学等を検討できるとよい。 <現在紹介しているアクティビティ> ◇ ビーチクリーンや展望台巡り等現在紹介しているコンテンツの他にも、やちむん作り等のコンテンツ造成も検討できるとよい。 <利用状況・アクティビティの情報共有> ◇ アクティビティ紹介等の情報共有について、以前作成されたLINEの情報共有グループの見直しや冬場のコンテンツ提供に関するアンケート調査の実施、来島者数情報の見える化ができるとよい。

あいさつ

第3回ワークショップにご参加、ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。
次年度以降もワークショップを開催し、地域の皆様と一緒に具体的な取組や課題について考えていきたいと思っております。引き続き、よろしくお願いいたします。